

い か ご IKAGO通信

滋賀県湖北地域振興局 木之本建設管理部
〒529-0426 滋賀県伊香郡木之本町黒田1234
TEL 0749-82-3434 FAX 0749-82-2654
E-mail ha3602@pref.shiga.lg.jp
URL <http://www.pref.shiga.jp/h/ki-doboku/>

「みんなで造る 奥琵琶の未来へつなげる道と川」

改めて地球は繋がっているということを感じざるを得ません。これを書いているのは3月中旬ですが、三寒の周期になっているのかよく雪が降っています。春が待ち遠しい季節ですが、冬の名残を楽しんでみるのも良いかもしれません。

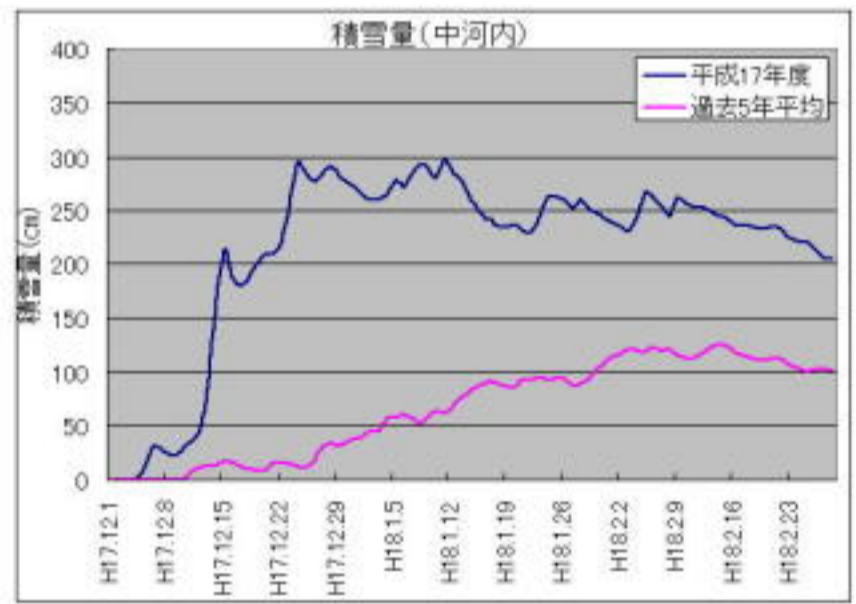
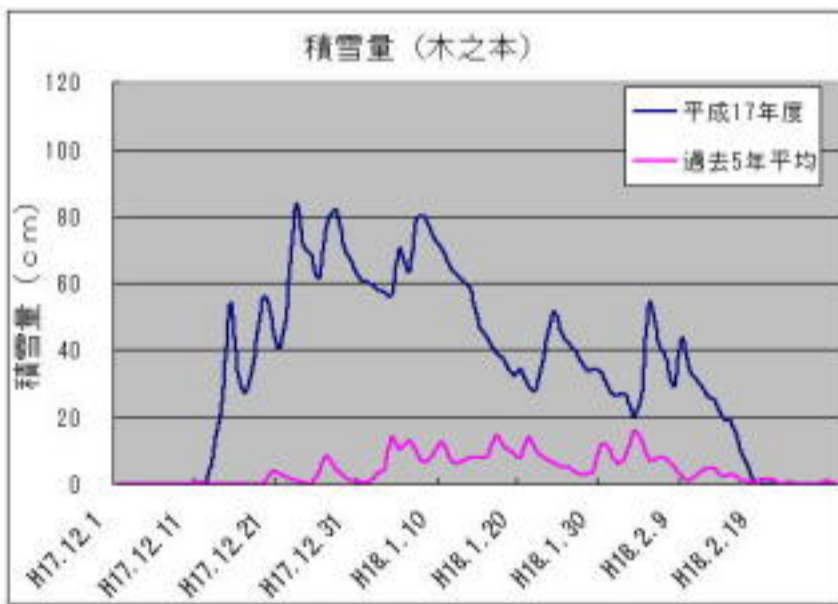
三寒四温という言葉がありますが、これは冬に大陸に発達するシベリア高気圧の勢力がおおよそ七日周期で変化することによるものだそうです。遠くシベリアで移り変わる高気圧勢力の影響が日本にまでおよぶということに、

「平成18年豪雪の話題」

気象庁は、今冬の大雪を「平成18年豪雪」と命名しました。過去、大雪に名前が付いたのは、1963年の「昭和38年1月豪雪」だけで、43年ぶりです。

グラフは、木之本町木之本と余呉町中河内において観測した積雪量です。データは、今年度(2月末現在)と過去5年分の平均であり、今年度が非常に

多かったことがグラフでも容易に想像できます。写真は、国道303号、365号において撮影したものです。12月中旬に撮影したのですが、非常に多いことがわかります。木之本建設管理部においても、休日夜間を問わず除雪作業を行いました。3月1日現在、除雪や凍結防止剤散布に要した日数は約40日、費用は約2億円となっています。



除雪作業のようす (左下 国道303号:金居原

右下 国道365号:中河内)



今年度をふりかえって「大川河川学習会」を行いました

平成17年10月に、大川河川改修事業を題材に、地元で行われている土木工事について、「もっと興味を持ってもらい、また、身近に感じ、そして知ってもらうこと」を目標に地元の小学4年生を対象に教室内での説明と現場見学会とを行う学習会を開催しました。

学習会の内容ですが、教室内での説明は内容があまり難しくならないように、また興味が持てるように気を付けて資料を作成しました。

子供たちがイメージしやすいよう、絵（アニメーション）や写真を中心に、工事の必要性、現在の状況などについて説明しました。

現場見学会では普段見ることが出来ない橋梁工事現場の見学と、簡単な作業体験を行いました。

当日は、子供たちからたくさんの質問が飛び出すほど熱心に聞いてもらうことができ、無事終わることが出来ました。

後日、子供たちから感想文をいただきました。この中には、なぜ工事をするか、工事がどんなものかがよくわかったといった内容で、「大変おもしろかった」、「ためになった」と書かれてあり、土木事業を少し身近なものとして感じてもらえたのではないかと思います。

今後も、皆さまにもっと土木事業を身近に感じて頂けるように、こうした機会を増やしていきたいと考えています。



(写真) 教室や工事現場で熱心に話を聞きました

「土砂災害に備えての警戒避難体制検討会」を行いました

平成17年10月に、平成16年度に土砂災害警戒区域、および特別警戒区域を指定した、余呉町池原区で、木之本建設管理部、余呉町および地元区が参加して、土砂災害発生時の警戒避難体制について、検討会を行いました（写真左）。

当日は、当建設管理部より住民が自らの判断により行う「自主避難」の重要性や、町からの発令により行われる「発令による避難」について説明しました。また、地元区より避難場所や避難時の問題点などについて、活発な意見が出されました。



「土木フェア 木之本 IN 2005」を開催しました

土木事業に親しむイベントとして『見て、さわって、感じてください土木の世界』をテーマに、地域の皆さん（約60名の方）に参加して頂き、『土木』を身近に体験して頂きました。

- ◆日時 平成17年11月18日（金）～19日（土）
- ◆場所 木之本合同庁舎、国道303号道路工事現場（木之本町金居原地先）
[第1会場：木之本合同庁舎]



展示コーナー（パネルで土木の世界を紹介しました）
[第2会場：木之本町金居原地先、橋梁工事現場]



除雪車体験コーナー（除雪車に乗りました）



見学コーナー（橋の話の聞いたり、地上30mの橋上を見学しました）



●このイベントに参加された皆さんから、アンケートの回答をお寄せ頂きました。

〈問い〉・これからの「土木」に何を期待しますか？

〈回答〉・安全に歩ける歩道をつかってほしい。

・便利な道路をつかってほしい。

・雪が降っても車が通りやすいようにしてほしい。

★皆さまから様々なご意見を頂き有り難うございました。これからも、より安全で安心な暮らしに向けて努力してまいります。また、平成18年度もこのような催しを予定していますので、皆さまのご参加をお待ちしております。

前川砂防堰堤が完成しました



土砂災害から、皆さまの生命や財産を守るために、余呉町川並地先で整備を進めていました、「前川砂防堰堤」が平成17年10月に完成しました。この砂防堰堤の特徴としては、土石流と一緒に流れてくる木をジャングルジムのような鋼製の「スリット」と呼ばれる部分でせき止めることで、流木による被害を防止する仕組みになっています。

今後は、堰堤下流の流路工の整備を行い、全ての工事が完成する予定です。

お知らせ 県営住宅の申し込み方法が変わります

◆平成18年4月から、県営住宅の申し込み方法が変わります！

県営住宅の申し込み方法が、平成18年4月以降「郵送方式」に変更されます。

「郵送方式」とは・・・

- 入居希望者は、入居申込書を滋賀県住宅供給公社へ郵送していただくことになります。
- 入居申し込みには、証明書等の提出は不要です。
- 公開抽選で当選された方のみ入居資格を確認するため、後日証明書類等を提出していただきます。

※県営住宅入居募集案内・入居申込書は、従来どおり各地域振興局建設管理部などで配布いたしますが、受付はできませんのでご注意ください。

※公営住宅法等の改正を受け、申し込み要件等が一部改正されました。詳細につきましては、平成18年度の募集案内でお知らせいたします。

お問い合わせは・・・

滋賀県住宅供給公社住宅管理課まで TEL 077-524-5586

編集後記

昨年の12月は記録的な大雪となり、全国的にも心痛む被害が多くみられました。木之本建設管理部でも県管理の道路の除雪にフル出動の状態、地域のみなさまも連日の除雪に苦勞されたのではないかと考えております。

さて、このごろは、寒かった冬がおわり、春の訪れを感じさせられるようになってきました。雪解けがすすみ、コハクチョウやオオワシが北帰し、陽の光があたたかさを増し、木々の芽がふくらみはじめ、・・・さまざまな自然の営みをつうじて。

18年度も引き続き当建設管理部の業務に関わる話題を主として、IKAGO (いかご) 通信を発刊して参りますので、ご期待ください。みなさまの、ご意見・ご感想などをお待ちしております。

【ご意見・お問い合わせ先】〈木之本建設管理部〉

電話 TEL : 0749-82-3434

電子メール E-mail : ha3602@pref.shiga.lg.jp

ファックス FAX : 0749-82-2654

〒529-0426 滋賀県伊香郡木之本町黒田1234